

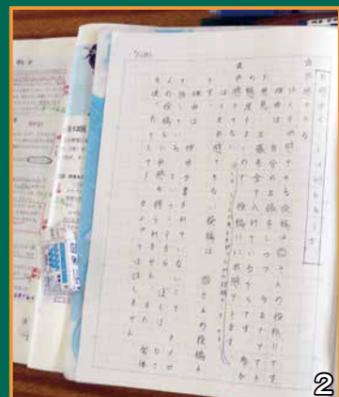
白石市学力向上プロジェクトの取り組み



大平小学校 確かな学力の定着をめざして

大平小学校では、一人一人の確かな学力の定着を目指して授業に取り組んでいます。まず児童が関心・意欲を持つ課題を設定し、次に思考力・判断力・表現力を高める場面を工夫して問題解決をさせ、最後に何が分かったかを児童に振り返る時間を確保することを共通の授業スタイルにしています。また、授業の質を高めるために、教員が互いに模擬授業をして授業の改善を図るな

どの取り組みも行っています。学習面で児童に自信を持たせるために、基礎学習の時間として、朝の10分間と午後の20分間に国語や算数の基本的な問題に取り組んでいます。さらに、今年は基礎・基本のさらなる定着を目指して、2～4年生には15分間の個別に応じた学習指導の時間を設け、学力の確実な定着を図っています。



① 教員同士で模擬授業を行い改善点を話し合います
② 児童が自分の考えを書くノートづくり ③ パワーアップタイムの様子

☎学校管理課 ☎22-1342

大鷹沢小学校 たてわり活動を通して

①たてわり「p4c」の実践から

本年度から、たてわり班を生かして「たてわりp4c」を行いました。「p4c」とは、決まったテーマについて自由に意見を述べ合う活動です。初めて体験した1年生も安心して自己紹介ができ、3年生以上の児童も温かい雰囲気の中で意見交換ができていました。大鷹沢小学校の学習で大切にしている「自分の考えを相手に分かりやすく

伝える」ことの素地が培われています。

②6年生による1年生のお世話から

入学して間もない1年生にとって、慣れない学校生活は不安があります。そこで、6年生は4月の間、毎日1年生教室に行って、朝の活動の準備のお手伝いや読み聞かせを行いました。お世話をする、教えるを通して児童自身が成長している姿が見られました。



④ たてわり「p4c」の様子 ⑤・⑥ 6年生が1年生に準備のやり方や読み聞かせを行います



新しい「移住交流コーディネーター」 「地域おこし協力隊」が着任しました！

本年4月から、「白石市移住交流コーディネーター」、「白石市地域おこし協力隊」にそれぞれ新たに1人が加わりました。

2人は、白石市移住交流サポートセンター「109-one」を拠点に、人とのつながりと新たな視点や発想力で、移住定住の促進に取り組んでいきます。

また、白石市地域おこし協力隊の清水智園さんを含め、3人で「109-one」を運営していきます。

白石市移住交流コーディネーター 遠藤 菜 さん

白石市出身の遠藤です。4月から「109-one」で、施設の運営や移住相談を主に担当します。交流の場として「109-one」をより良い施設にして、地元の皆さんの貴重な声を大事にしながら運営していきたいです。また、地元出身ですが、私自身もまだ知らない白石の魅力を再発見し、情報発信に力を入れたいと考えています。



1年目

1年目



白石市地域おこし協力隊 毛利 友里恵 さん

東京都出身の毛利です。移住してきたばかりなので、これから少しずつ白石の魅力を体感していきたいと思っています。地域の方に「109-one」を知ってもらい、実際に利用するまでの導線を作りたいと考えています。地域の方が気軽に利用できる交流の場として「109-one」の土台を皆さんと一緒に作っていきたいです。

白石市地域おこし協力隊 清水 智園 さん

東京都出身の清水です。一昨年4月に着任し、「109-one」を拠点に活動してきました。シャッターに絵を描く「シャッターアート」を開催して、地域の方など多くの皆さんから「まちが明るくなってよかった」と声をかけていただきました。本年度で地域おこし協力隊を卒業しますが、最後まで精いっぱい活動に取り組んでいきます。



3年目